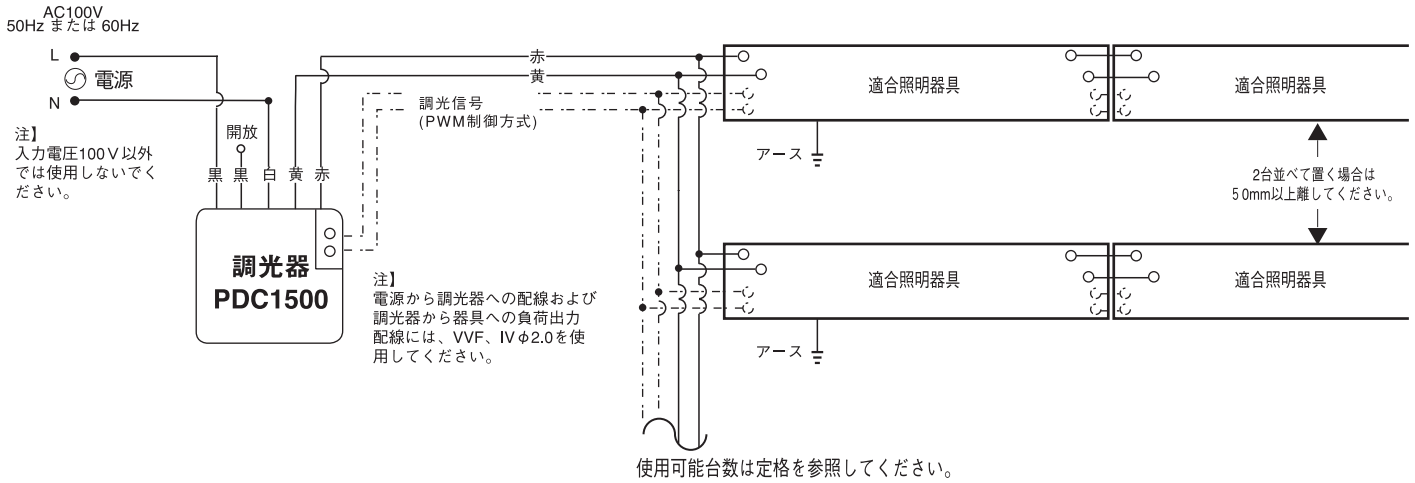
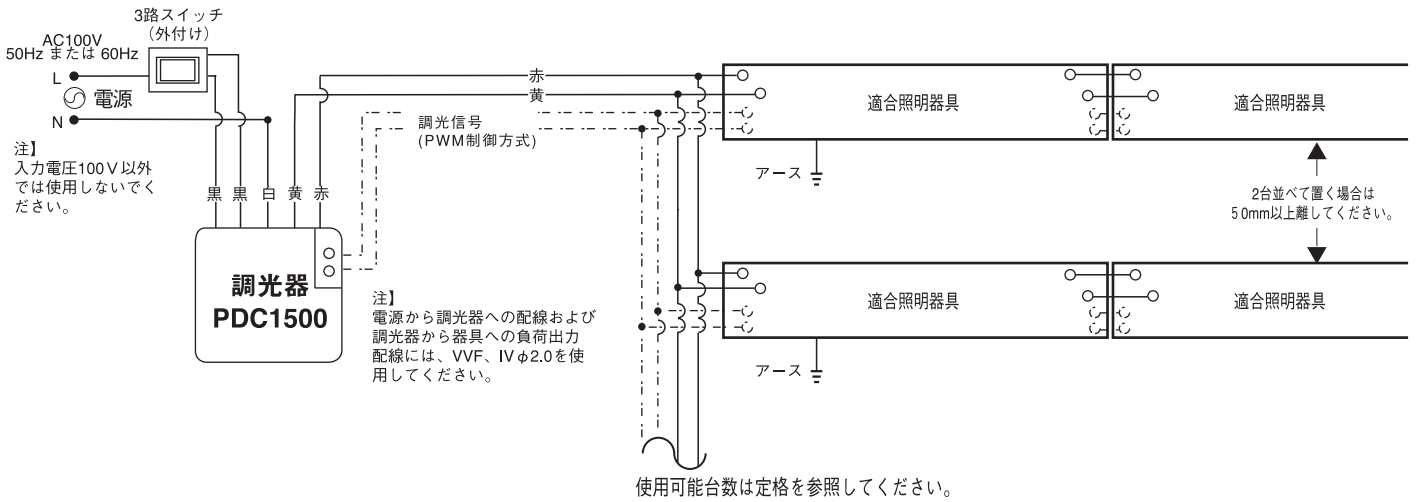


結線図

●本体スイッチのみを使用する場合



●3路スイッチ(別売)を使用する場合



良好な調光をおこなうための適合照明器具の組み合わせ

適合照明器具の組合せ例		調光具合	
同一機種 同一長さの 適合照明器具	調光器 → SAL-D□-1500FM → SAL-D□-1500FM	○	良好な調光がおこなえます。
同一機種 長さの異なる 適合照明器具	調光器 → SAL-D□-1500FM → SAL-D□-550FM	○	良好な調光がおこなえます。
異なる機種 同一長さの 適合照明器具	調光器 → SAL-D□-1500FM → SAL-D□-1500FP → SA-LED2-1500FP	×	明るさに差がでます。 チラツキが発生する場合があります。
異なる機種 長さの異なる 適合照明器具	調光器 → SAL-D□-1500FM → SAL-D□-850FP → SA-LED2-1000FP	×	明るさに差がでます。 チラツキが発生する場合があります。

《誤配線の場合は次の現象が発生しやすくなります。》

- ・調光できない。
- ・ランプの両端がすぐ黒くなる。
- ・調光器・照明器具の故障。



DNライティング株式会社

PWM信号制御調光器
(シーレスライン、シーレススリム、DNLED's用)

PDC1500

(100V, 50/60Hz共用)

取扱説明書

保存用

11年06月17







ご購入ありがとうございます。ご使用前に必ずお読みください。
この説明書は取付工事が終わりましたら、ご使用になるお客様に必ずお渡しください。

本社・営業本部 / 東京都品川区西五反田 1-13-5 : 03-3492-4460

東京物流センター : 03-3691-3225

札幌営業所 : 011-824-5051 仙台営業所 : 022-283-3401 名古屋営業所 : 052-322-2861 大阪営業所 : 06-6338-1081 福岡営業所 : 092-471-8075

安全上の注意

 警告	
 <ul style="list-style-type: none"> ●調光器の分解、改造は絶対にしないでください。感電の原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●取付工事やランプ、LEDランプ、LEDモジュール交換や清掃のときは、必ず電源を切ってください。火災や感電の原因となります。 ●万一、煙がでたり、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。
 <ul style="list-style-type: none"> ●断熱材や燃えやすいもので覆ったりしないでください。調光器の故障や火災の原因となります。 ●調光器の隙間などに金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電や火災の原因となります。 	 <ul style="list-style-type: none"> ●取付工事及び電源工事の際は取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。感電、火災、ケガの原因となります。
 注意	
<ul style="list-style-type: none"> ●電源電圧は、AC100V±6V以内で使用してください。ランプ、LEDランプ、LEDモジュールの不点灯やチラツキ、調光器故障や発煙、発火の原因となることがあります。 ●調光信号出力にAC100Vなどの電源線を接続しないでください。感電や火災、故障の原因となることがあります。 ●屋内用調光器ですので、屋外では使用しないでください。屋外で使用すると感電、火災の原因となることがあります。 ●引火する危険性の雰囲気（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・粉塵など）で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。 ●雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところでは使用しないでください。漏電、感電や故障の原因となることがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●酸などの腐食性雰囲気のところでは使用しないでください。故障や漏電、落下の原因となることがあります。 ●粉塵の多いところでは使用しないでください。発煙、発火の原因となることがあります。 ●電線の接続点や調光器の口出線には、張力を加えないでください。接続部の断線、絶縁破壊、接触不良による感電、発煙、発火の原因となることがあります。 ●8~10年経過した調光器は絶縁性能が低下していますので使用しないでください。そのまま使用しますと火災の原因となることがあります。調光器の交換をおすすめします。 ●調光信号線は短絡しないでください。故障の原因となることがあります。 ●AC100V用です。誤ってAC200Vで使用しますと感電や火災、故障の原因となることがあります。

ご使用上の注意

<ul style="list-style-type: none"> ●調光器の取付工事は必ず電気工事店に依頼してください。 ●周囲温度は5°C~35°Cの範囲で使用してください。周囲温度が低温または高温の場合、ランプ、LEDランプまたはLEDモジュールの不点灯やチラツキの原因となることがあります。 ●周辺の音響機器などに雑音障害を及ぼすことがあります。なるべく他の音響機器とは離し(1m以上)、別系統の電源での使用をおすすめします。 ●調光器の近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機が正常に動作しないことがあります。 ●調光器を清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤は使用しないでください。故障の原因となることがあります。水または中性洗剤で濡らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。 ●長期間使用しない場合は、部屋の湿度により絶縁が悪くなることがありますので、部屋の換気をおこなうか定期的に通電してください。 ●ランプ、LEDランプまたはLEDモジュールの寿命末期の場合は、不点灯や点滅を繰り返すことがあります。早期にランプ、LEDランプまたはLEDモジュールの交換をお願いします。 	<p>シーレスライン、シーレススリムを使用する場合、次の事項に注意してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●明るさを下限レベルまで調光させていくと消灯寸前の付近ではランプの放電が不安定となるため、チラツキとして感じる場合があります。 ●長時間消灯する際は、本体のスイッチでおこなってください。なお、本体スイッチで高頻度の点滅をしますと、ランプが短寿命になります。1日3回程度としてください。 ●シーレスライン照明器具調光型のFMタイプ、シーレススリム照明器具調光型SHC-Lタイプは、回路の特性上、スイッチをONしたら約50%の明るさになり、その後、調光設定レベルの明るさに落ち着きます。 ●シーレススリム照明器具調光型SHC-Lタイプは調光下限で点灯を持続する場合と消灯する場合があります。 ●シーレススリム照明器具調光型SHC-Lタイプは調光器と別回路のご使用时、調光下限付近で本体側回路のON/OFFのみでは点灯復旧しない場合があります。
--	--

調光設備の設計・施工上のご注意

弊社調光システムを正しくご使用いただくため以下のことをお守りください。

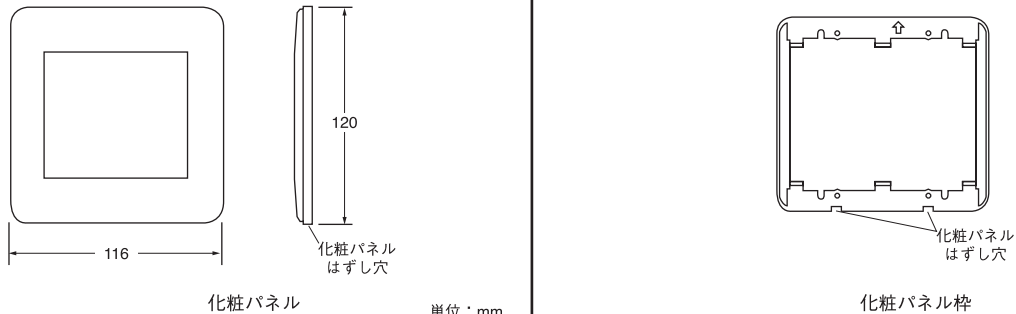
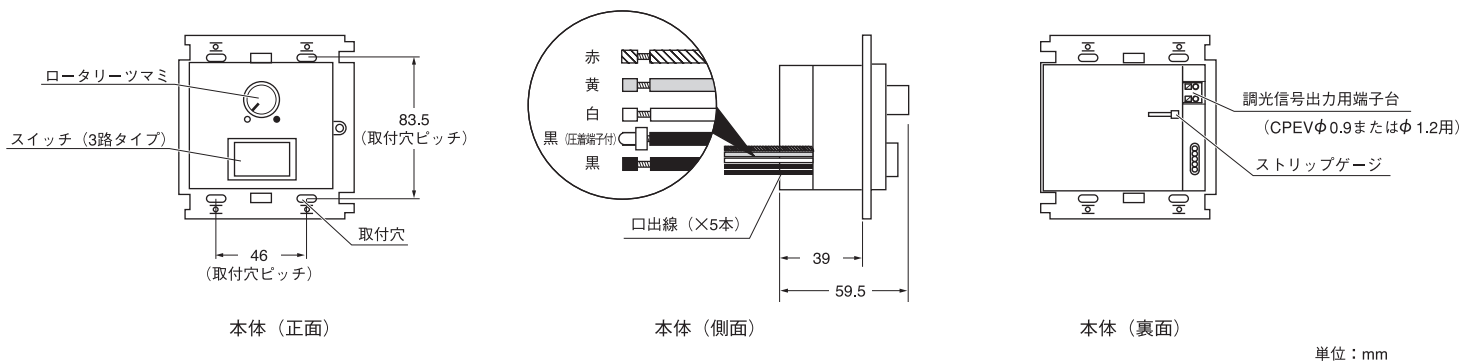
<ul style="list-style-type: none"> ●調光器を2台以上並べて設置する場合は、相互の熱影響を受けますので、上下方向100mm以上、左右方向50mm以上離してください。 ●調光器は定格容量以下で使用してください。 ●電源から調光器への配線および調光器から器具への負荷出力配線には、VVF、IVのφ2.0を使用してください。 ●調光信号線にはCPEV線φ0.9×1ペアまたはφ1.2×1ペアを総配線長100m以内で使用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●施工の際は電気設備技術基準の解釈第206、207条に準じておこなってください。 ●その他、調光する場合のご注意点 シーレスライン照明器具調光型のFPタイプは、スムーズに調光出来るようにする為、常にランプフィラメントを予熱しています。ロータリーツマミで消灯させてもランプ両端のフィラメント部分がわずかに明るくなりますが異常ではありません。 長時間ご使用にならない場合は、必ずスイッチを切ってください。
--	---

調光設備の設計・施工上のご注意

弊社調光システムを正しくご使用いただくため以下のことをお守りください。

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 主幹の電源線には電流容量に見合った配線用遮断器と電線を使用してください。 ● 電源変圧器は調光専用変圧器としてください。
動力用と兼用すると電圧変動の影響を受けやすく、また、音響用と兼用すると雑音（ノイズ）の影響を受け照明負荷のチラツキの原因となります。（同一変圧器系に大容量の位相制御負荷があると、高調波や電源歪みが発生し、照明負荷のチラツキの原因となります。） ● 変圧器容量の概算容量は下式でもとめられます。なお、10kVA以上の場合は別専用変圧器として増設してください。
 ・変圧器容量＝総負荷設備容量×需要率×余裕率
 総負荷設備容量とは照明負荷容量の合計値。需要率は0.7～0.8。
 余裕率は1.1～1.2が一般的な値ですが出来る限り大きい容量の変圧器を使用してください。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 白熱灯の電源は、別系統からとってください。チラツキの原因となることがあります。 ● 電源は中性線（N相）を持った以下の方式をご使用ください。
単相3線式／単相2線式／三相4線式 ● この他、工事上の制約がありますので、取り付けに際しては電気設備技術基準に準じて施工してください。 |
|---|---|

各部の名称と外形寸法



定格

形式	項目	入力電圧 (V)	周波数 (Hz)	定格容量 (A)	本体質量 (Kg)	適合照明器具	使用可能台数
PDC1500	100	50/60	15	0.35	シームレスライン照明器具 / PWM方式調光型	25台まで	
					SAL - D□ - ○○○○FM サイズ		
					SAL - D□ - ○○○○FP サイズ		
					SAL - K○○○○FM サイズ		
					LED's SEAMLESS照明器具 / PWM方式調光型	25台まで	
					SA - LED2 - ○○○○FP サイズ		
					シームレススリム照明器具 / PWM方式調光型	16台まで	
					SHC - L○○○○T5K サイズ		
					LED間接照明器具 / PWM方式調光型	16台まで	
					SS - LED○○○○AP サイズ		

・適合照明器具の詳細については各取扱説明書をご参照ください。
 注意：入力電圧100V以外では使用しないでください。

取付方法

1. アウトレットボックスの埋め込み

PDC1500を取り付けるために中型四角アウトレットボックス深型と中型四角スイッチカバー（2コ用13ミリカバー）の組み合わせで壁に埋め込んでください。樹脂製ボックスは放熱が悪いので、金属製ボックスをご使用ください。

2. 電源および器具への配線と結線

口出線を化粧パネル枠に通し、本体銘板の配線図にしたがって結線をおこなってください。

3. 本体の取り付け

化粧パネル枠を化粧パネルはずし穴を下にして本体に取り付け、取付ねじ4本で本体ごと固定してください。

化粧パネルは化粧パネルはずし穴を下にして本体に取り付けてください。

4. 電源の供給

全ての作業が終わりましたら電源を入れ、ランプ、LEDランプ、LEDモジュールが点灯・調光することを確認してください。

注意：調光器は入力電圧100V以外では使用しないでください。

